

⑥有害物等との接触
(酸欠)

漏れた窒素ガスを吸って瞬時に酸欠死

発生状況



LNGタンク冷却試験中、安全弁の不具合により、ドームハウス（異物侵入防止用の仮設小屋）に窒素ガスが流入していた状態で、ドームハウスに入ろうとした時に窒素ガスを吸込み、瞬時に酸欠死

原因

- ✓ 本来、撤去すべきドームハウスを設置した状態で冷却試験を実施した。安全弁に不具合があった
- ✓ 冷却試験の関係者以外の者が立入禁止区画に入った
- ✓ 管理者・作業員全員の窒素ガスの危険性の認識が不足していた



防止対策

- ✓ 冷却試験時にはドームハウスを撤去する
- ✓ 酸欠の危険性に関する再教育を実施する
- ✓ 冷却試験の実施要領・手順を見直す。安全弁取付け時に健全性を目視で確認し、チェックリストで報告する



窒素ガスは見えない！臭わない！感じない！

DATA
発生年月日
2013.07.19

発生場所

建造LNG船
タンク上

作業名・作業内容

LNGガス圧縮機
試運転

死傷病名

酸欠

職種

船装職

社/協

社員

年齢

26才

経験年数

8年

窒素ガス吸入の危険性:

われわれは普通、1分間くらい呼吸を止めていても何ともないので、窒素ガスを少しくらい吸い込んでも危険はないと考えてしまうが、窒素ガスを一息吸うと、肺の中の酸素濃度が低下し、すぐに脳への酸素供給が絶たれ、呼吸中枢がマヒしてしまう。

息をしなくても、肺の中の酸素濃度は急激には減らないが、窒素ガスを吸うと、肺の中の酸素はすぐになくなってしまうので、突然、意識がなくなり倒れてしまう。